

「現代女性とキャリア連携専攻」の現在

倉田宏子

2008年度にスタートした「現代女性とキャリア連携専攻」は、今年度初めて修了書を発行することになる。本専攻設置に関わった者としては感慨ひとしおである。

大学基準協会から女子大学ならではの取り組みに欠けている、学部学科の統一性あるいは全学的な特徴が見えない等の指摘を受けて、本学ならではの教育の新しい可能性を全学的な協力の下で模索した結果、本専攻が設置された経緯は繰り返すまでもないだろう。『履修便欄』で謳っているように、「現代社会に生きる女性の生き方、働き方について考え、先人に学び、幅広い知識や、思考力、実践する力を身につけることを目指し」、本学学生が「大学を卒業して職業につき、結婚や子育て、あるいは介護や老後等、多様なライフコースを辿ることを理解し、生き生きとした人生を設計することを応援」するのが、本専攻の使命である。折しも、2011年4月1日から改正・施行された「大学設置基準」第42条2において、大学における「キャリア教育」が義務化された。本学における「教養特別講義1・2」「教養科目」「キャリア形成科目」とともに、本専攻の設置も、まさに時宜を得たものであったと意を強くする次第である。

受講者数も年々増加していることは、下記のコア科目受講者数一覧をご覧ください。ただし、2011年度は残念ながら減少しているが、これは全学的傾向のようである。要因としては、2011年度の入学者数が減少したこと、上限単位数が厳しくなったこと等が指摘されている。

	2008年度	2010年度	2009年度	2011年度
現代女性論	29	106	55	81
現代男性論	53	62	120	95
日本の女性史	12	49	195	67
世界の女性史	15	42	74	48
女性と身体	26	20	24	18
女性と職業	73	107	47	68
合計	208	386	515	377

広報活動としては、例年に引き続き本専攻の概要のチラシを作成した。オリエンテーション時に新入生に配布するだけでなく、本学のホームページや学内のプラズマテ

レビなど、さまざまな媒体を通して周知をはかっている。また、今年度も「推薦図書リスト」を作成する準備をしている。これは、各学科から出ている本委員会委員が、学生の履修に役立つと思われる図書を推薦・紹介するチラシであり、図書館ホームページでも公開している。

このように本専攻の真価をいっそう発揮すべき状況下で、残念なことが起きている。それは、従来、本専攻の研究室を百年館低層棟1階講師室の一隅に確保し、非常勤助手1名が年間を通して勤務していたが、今年度より、同講師室の改修に伴い、本専攻のスペースがなくなり、実務は、教務・資格課所属の講師室職員が担当することとなった。現在、同課職員が可能な限りの支援をしてくださっている。しかし、本委員会運営細則の8「本連携専攻科目の授業運営を円滑に行うため、現代女性とキャリア連携専攻研究室を設置し、人員を配置する。」と謳っている点に照らすと、明らかな後退といわざるを得ない。

そのようななか本専攻の発展を期して、7月16日(土)の午後、二部にわたる懇親会を開いた。一部は、コア科目担当者および本委員会委員との初の懇談会である。6科目中3科目の先生がご参加くださった。この会で判明したのは、研究室のなくなったことが、受講学生への指導を困難にする場合を生じさせていることである。また、研究室がないため、本専攻所蔵の図書やビデオ、DVDなどは、現代女性キャリア研究所の書架に置いてもらっているが、学生への貸し出しはむろん閲覧も難しく、これらの教材は死蔵されている状況である。教育環境充実のために、是非とも改善が必要であろう。

二部は、例年おこなっているコア科目「女性と職業」のゲストスピーカーの方々との懇親会を、一部の先生方にも参加していただき開催した。2008年度からのゲストスピーカー12名がご参加くださり、皆さまのスピーチをお聞きして、本学の卒業生は何と人材が豊富なのだろうという思いに改めて打たれた。この授業を通して、各界で活躍している先輩たちの講義を聞くことのできる在学生たちは、どんなに大きな刺激や力を得ていることだろう。本専攻の意義は、この点からだけでもきわめて大きいといつてよい。

世界的な経済不安に未曾有の災害も加わり、学生たちが就職氷河期に直面している現在、本専攻は、学生たちが力を蓄え、充実した豊かな生とは何かを真剣に考え、自らの人生を切り拓いていく一助となれるよう、鋭意努力を重ねなければならないと考えている。

【ご参考】 「女性と職業」 2011年度 ゲストスピーカー

児童学科	Human Resources/コーディネーター (1984年卒業)
被服学科	通信販売流通/バイヤー (1988年卒業)
家政経済学科	地方公務員/労働相談調査 (1993年卒業)
食物学科	大学出版部/編集 (1997年大学院修士課程修了)
住居学科	建築設計/建築家 (1983年卒業)
日本文学科	広告制作会社/コピーライター (2002年卒業)
英文学科	出版/編集 (1999年大学院博士課程前期修了)
史学科	博物館/学芸員 (2010年大学院博士課程前期修了)
数物科学科	電気メーカー/SE (2003年大学院博士課程前期修了)
物質生物科学科	食料品メーカー/研究 (1998年大学院博士課程前期修了)
*日本文学科	地方公務員/教員 (1984年卒業) 【*学科卒とは別の教職関係卒】

(くらた ひろこ「現代女性とキャリア連携専攻」委員会 委員長)